



INTERNATIONAL COMMUNICATIONS COUNCIL  
ICC ASIA PROGRAMME No. 3140001092359  
16-1, Aoba-dai, Kita-ku, Kobe-city, 651-1231 Japan  
<https://www.jv-campus.org/>  
<https://www.jv-campus.org/user/provider/198/>  
<https://www.jv-campus.org/user/course/345714/>

2022年11月11日

## 企画書

対象：大学生

2023年度オックスフォード大学夏期研修（ハイブリッド型）

文部科学省主導プロジェクト「大学の国際化促進フォーラム」JV-Campus

<https://www.jv-campus.org/>

<https://www.jv-campus.org/user/course/345714/>

本プログラムは、文部科学省主導プロジェクト「大学の国際化促進フォーラム」の活動の一環としてイギリス政府国際文化交流機関ブリティッシュ・カウンシル British Council <https://www.britishcouncil.org/> より公的に認可された OIEG Oxford International Education Group と ICC International Communications Council が共同企画・運営するプログラムです。

1対1の個別レッスンのコースのチューターは、それぞれオックスフォード大学、ケンブリッジ大学、ロンドン大学（London School of Economics、Imperial College London、King's College London）いずれかの大学学位取得者で教授法の豊かな経験をもっています。主にオックスフォード大学とケンブリッジ大学の PBL（Problem-based learning）テュートリアル教育、課題に立脚しながら学修を進める方法、課題に基づく学修アプローチを実践します。

オンサイトと1対1の同時双方向型オンラインの組み合わせ、オンサイトとオンラインそれぞれのメリットを最大限に実践するハイブリッド型留学です。英語というコミュニケーションツールの習得に留まらず、人種、国籍の違いを越えて、多くの人が、国際性という感性を豊かにし国際理解について学びを深め新たな国際力を身につける機会となるよう、願っています。

- ・ 日程： A 日程：2023年7月23日(オックスフォード着)～2023年8月5日(オックスフォード発)  
B 日程：2023年8月6日(オックスフォード着)～2023年8月19日(オックスフォード発)  
C 日程：2023年8月20日(オックスフォード着)～2023年9月2日(オックスフォード発)
- ・ 場所： University of Oxford Bodleian Libraries Weston Library, Broad Street Oxford OX1 3BG  
Oxford International School 36-37 Pembroke Street, Oxford, OX1 1BP
- ・ WEB 申込：<http://icc-edu.com/entryform/form.php>
- ・ 最少催行人数：1名 1名から申込を受付けます。
- ・ 滞在形式：ホームステイ（オックスフォード大学近隣）朝食、夕食付き Free Wifi
- ・ 期間：14日間（ハイブリッド型）（A 日程と B 日程、B 日程と C 日程を合わせて受講も可能です。）  
1対1 オンラインレッスンを担当するチューターは300人以上登録しています。

午前一発信型英語研修（他国からの学生も参加し、インターナショナルクラスで、国際競争力の養成を目的とします。）レベル別、少人数レッスン

午後—1対1の個別オンラインレッスン 同時双方向型

PBL (Problem-based learning) テュートリアル教育

チューターと共に課題に立脚しながら学修を進める方法、課題に基づく学修アプローチを習得

下記コースから選択します。

### 1. **English Communication Course**

英語で読む、聴く、話す、書くという四技能の高度な熟練に加えて、よりの確でインパクトを与える表現を用いて、プレゼンテーションできるスキルの習得に努める。分析力・説得力のディベート能力や、スピーキング、ライティングのプレゼンテーション能力のスキルを習得する。

CEFR A2 から B1 へ、B1 から B2 へ、B2 から C1 へと四技能を上げる。

### 2. **Political Science Course**

10年後の世界はどのようになっているだろうか？私たちは現代の地球温暖化問題をどのように解決できるだろうか？受講生は、科学的検証や技術が、ネットワークや国際機関を通して、いかにして政策に取り次がれるかを探求する。

### 3. **Academic English Course**

アカデミックイングリッシュは、厳格な書式とルールのもとに、フォーマルな語調と単語を使います。文法とスペルが正しければそれでよい、自分の意見を述べればそれでいいというものではなく、適切な引用などを使い、根拠をもって自分の考えを論理づけ、説得力のある力強い学術論文の書き方を学ぶ。

### 4. **Creative Writing Course**

本コースは、英語を母語としない学生が英語圏での高等教育を受けるために必要な資質、例えば、エッセイ、レポートの書き方については、理論の簡潔な纏め方、調和のさせ方、組み立て方、議論の進め方、証明の仕方、アイデア・テーマの伝え方の順番およびそれぞれリンクする関わり方を身に付けて、伝達する能力 (Creative Writing) を習得する。

### 5. **International Law Course**

人権、管轄、司法権、力の行使、抑止権、国連機関などの国際保護法について探求し、それらの脈絡を理解し、国際法の歴史・過程について検証する。

### 6. **Business & Entrepreneurship Course**

本コースでは、世界的な競争と共生が進み、グローバル化する現代社会に対応するために求められている資質について学ぶ。根拠のない直感ではなく、物事を理論的・客観的に評価する姿勢、高度な数学力に基づき科学的に評価する姿勢—リスクマネジメントする能力について学習する。

### 7. **International Relations Course**

異なる言語や文化的・歴史的な背景に由来する価値観や差異を乗り越えて、関係を構築するため、ジャーナリズム、メディア、人権、ジェンダー、政策、環境、パンデミック、剽窃、LGBTなどのグローバル社会において生じ得る問題を取り上げる。自らシミュレーションし、言葉の壁を乗り越え、グローバル・リーダーの行動特性について学習する。

### 8. **Logic Course**

本コースでは、証明問題を取り扱う。

1つの画像を見て、ウサギであるか、アヒルであるか、証明するために、論証のつながりを明確にし、過不足なく行き、「論理」を成り立たせる論証の構成や推理の仕方について学びます。

### 9. **Psychology Course**

精神的病は肉体的病であると理論化されて以来、人は行動について科学的に考察し理解するようになった。

本コースは、人についての研究である心理学について、「社会・認知心理学」に対して「心理学的リサーチ方法論」、「自然」に対して「育成」という基幹問題を取り扱う。

### 10. **Bespoke Course**

上記以外のコース、例えば Economics Course, Data Science Course, Mechanical Engineering Course, Civil Engineering Course, Maths Course, Physics Course, Medicine Course, Biology Course, Chemistry Course, など。

行程

	AM	昼食	PM	夕食
Day 1	ロンドン国際空港に到着、出迎え用専用バスでオックスフォードに向かう。			
Day 2	<b>Intensive English</b> 他国から参集する学生たちとのインターナショナルなクラスで、英語4技能の習得。 加えて、気候変動、ジャーナリズム、LGBTQ+、人種、SDGs、多様性等々、グローバル社会における様々な問題について活発に意見交換をしてください。	昼食	オックスフォードオリエンテーション	Homestay
Day 3		昼食	One-to-one Online lesson	Homestay
Day 4		昼食	One-to-one Online lesson	Homestay
Day 5		昼食	One-to-one Online lesson	Homestay
Day 6		昼食	課題	Homestay
Day 7	自由時間（他国からの留学生とインターナショナル課外活動） 自由時間の過ごし方は、Guidebookを参考にしてください。			Homestay
Day 8	自由時間（他国からの留学生とインターナショナル課外活動） 自由時間の過ごし方は、Guidebookを参考にしてください。			Homestay
Day 9	<b>Intensive English</b> 他国から参集する学生たちとのインターナショナルなクラスで、英語4技能の習得。 加えて、気候変動、ジャーナリズム、LGBTQ+、人種、SDGs、多様性等々、グローバル社会における様々な問題について活発に意見交換をしてください。	昼食	課題	Homestay
Day 10		昼食	One-to-one Online lesson	Homestay
Day 11		昼食	課題	Homestay
Day 12		昼食	One-to-one Online lesson	Homestay
Day 13		昼食	課題	Homestay
Day 14	コース終了・現地解散			

留学費用：2,580 GBP/1人

留学費用に含まれるもの

1. 申込登録費（500 GBP/1人）申込登録費は返金不可です。
2. プログラム費
  - ① オックスフォード大学登録（Associate Studentとしての学生証が発行されます）
  - ② 学費（授業料および教材）（オンライン オンサイト）
  - ③ 宿泊費：ホームステイ（個室）トイレ、シャワーは共用  
他国からの留学生が同じホームステイをすることもありますが、各自の個室は確保されます。
  - ④ 食事：朝食、夕食付き
  - ⑤ Wifi アクセス
  - ⑥ 課外活動参加費用（一部有料）

留学費用に含まれないもの

1. 往復渡航費（航空機代）
2. お小遣い
3. 海外旅行傷害保険（研修参加者は海外旅行傷害保険の加入を義務付けています。）
4. 査証申請費用（ICC International Communications Councilは申請に必要なLetter of Acceptanceを発行いたしますが、申請は、本人ご自身が手続きをしてください。）
5. 通学費用（通学は、徒歩、自転車、または路線バスを利用）
6. 延泊費用（英国に延泊せざるを得ない状況になった場合は、安全で安心のできる環境を準備いたしますが、それに伴う追加費用は参加者ご自身の海外旅行傷害保険で賄ってくださいますようお願いいたします。）

#### 留学費用の支払いについて

1. 留学費用は、申込登録費（500 GBP/1人）とプログラム費から成る。
2. 申込登録費は、返金不可です。
3. 入金を確認できない場合は研修の受講を認めません。
4. インボイスを受け取って、コースコードを確認してください。
5. 留学費用は、英国ポンド建てで下記の口座宛て電送くださいますよう、お願いいたします。
6. 外国送金にかかる銀行手数料は、送金者をご負担くださいますようお願いいたします。

Account Name:	International Communications Council
Bank:	HSBC
Branch:	New Bond Street
The address of the Branch:	129 New Bond Street, London W1A 2JA England
Bank Account Number:	21715798
SWIFT Code:	HBUKGB4107C
IBAN Code:	GB44HBUK400501 21715798
Branch Sort Code:	40-05-01

#### キャンセル・損害賠償について

1. キャンセルは、文書（メールを含む）で知らせなければならない。メール発信日をキャンセル通知日とする。
2. キャンセルに伴う返金は、受講生名義の銀行口座に送金日の為替レートでポンド建てで送金する。
3. 返金する際は、返金を合意して最長45日以内に、受講者名義の口座宛てに、送金日の為替レートで、英国ポンド建てで返金する。
4. キャンセル料は、研修（オンラインによる事前学習を含む）が始まる4週間前から発生する。
5. 研修（オンラインによる事前学習を含む）が始まる4週間前にキャンセルした場合、プログラム費の80%を返金する。申込登録費は返金しない。
6. 研修（オンラインによる事前学習を含む）が始まる3週間前にキャンセルした場合、プログラム費の40%返金する。申込登録費は返金しない。
7. 研修（オンラインによる事前学習を含む）が始まる2週間前にキャンセルした場合、プログラム費は返金しない。申込登録費は返金しない。
8. プログラム実施途中でキャンセルした場合、いかなる理由があっても、一切返金しない。
9. ICC（International Communications Council）及びICCが認める現地運営団体の責任内で、プログラムが始まる前に、プログラムをキャンセルしなければならない事態が発生した場合、受け取った留学費用（申込登録費とプログラム費）を全額返金する。
10. ICC（International Communications Council）及びICCが認める現地運営団体の責任内で、プログラム実施途中でプログラム日程を短縮しなければならない事態が発生した場合、プログラム費は日割計算で返金する。申込登録費は返金しない。

11. 天災・政変その他 ICC (International Communications Council) 及び ICC が認める現地運営団体の自己の責めに帰することができない事由により、本プログラムが前提とする通信手段（通信網、通信アプリの双方を含む）が途絶し使用不能となった場合、オンラインコースは配信しない。オンラインコースに関する契約は解除し、返金はしない。通信手段が回復した段階で、振り替えオンラインコースを実施する。振替期間は1年以内とする。
12. テロ、戦争などの不測の事態が発生し、日本外務省より英国への渡航禁止が正式に発令され、及び、英国外務省より英国への入国禁止が正式に発令された場合など、自己の責めに帰することができない事由により、本プログラムの実施が不可となった場合、ICC が指定する別の日程に変更して代替プログラムを実施する。なおこの事に伴い発生するキャンセル料（例：航空券のキャンセルなど）、追加費用などは、参加者の負担とする。本契約のプログラムの留学費用は変更後別日程の留学費用に振当てる。返金はしない。但し、ICC が指定するオンラインコースに振替えた場合は、ホームステイ費用の実費を返金する。振替期間は1年以内とする。
13. 研修参加者は、海外旅行傷害保険に加入しなければならない。研修期間中に起きた不慮の事故、または参加者自身の故意・過失による怪我・病気もしくは死亡した場合に起きる諸費用は、保険によって賄わなければならない。
14. 本合意書の定めに反し、これによって相手方に損害を与えた場合は、相手方に対して当該損害を賠償しなければならない。本契約に他の定めがある場合には、当該定めを優先適用するものとする。

#### 危機管理について

- ・病気の時は、オックスフォード大学病院が対応する。  
John Radcliffe Hospital, Headley Way, Headington, Oxford OX3 9DU 電話番号 0300 304 7777  
Churchill Hospital, Old Road, Headington, OX3 7LE
- ・診療所：King Edward Street Medical Practice, 9 King Edward Street, Oxford, OX1 4JA
- ・薬局：Boots, 6-8 Cornmarket Street, Oxford, OX1 3HL
- ・研修生活開始後、受講生に24時間対応の緊急連絡方法・電話番号を知らせる。

#### 英国入国について

英国入国管理事務局からの指導により、ICC (International Communications Council) ならびに ICC が認める英国の運営団体は、研修受講生の年齢に関係なく、学生、添乗員・引率者など、全員のパスポート（身分証明書）のコピーの提示を求める場合がある。

#### 受講生の個人情報について

- ・受講生に緊急事態が発生した場合には必ず保護者または保証人が対応できることを確認してください。
- ・受講生の身体的ならびに心理的（例：過食症、拒食症など）状況について必ず報告してください。これは、受講の可否を決める基準ではありません。
- ・受講生の食事療法（例：食物または動物アレルギー、菜食主義など）について必ず報告してください。
- ・到着時に身分証明書発行のために受講生の写真を撮る場合もあります。

## 研修受講生の規約事項

1. 研修受講生は、留学・研修プログラム及びその付帯行事中に下記の禁止事項を行わない。

- ・法令で禁じられている行為
- ・学校・施設への危険物の持ち込み
- ・騒音・怒声等を発したり、暴力を用いる等の迷惑行為
- ・授業への遅刻・無断欠席(事故・病気等やむを得ない理由を除く)
- ・その他、ICC (International Communications Council) 及び ICC が認める現地運営団体が不適切と認める行為

また、上記に違反する行為が認められた場合は自費での帰国に同意する。

2. 研修受講生は、留学・研修プログラム及びその付帯行事の開催中、研修受講生個人の所有品に対し、自己責任において一切の責任を持つ。

3. 研修受講生は、留学・研修プログラム中及び付帯行事の開催中に負傷または死亡事故が発生した場合、研修受講生自身及び研修受講生の家族代表者、保護者等関係者はその原因の如何を問わず、傷害保険による保険金給付のほかは、ICC (International Communications Council) に対する責任の一切を免除する。

4. 研修受講生および研修受講生の保護者(保証人)は、研修受講生が留学・研修プログラム及びその付帯行事に負傷したり、事故に遭遇したり、あるいは発病した場合には、研修受講生に対し適切な処置が施されることに異議ありません。

5. 研修受講生および研修受講生の保護者(保証人)は、留学・研修プログラム及びその付帯行事に関連する放送、テレビ放映、新聞等の報道、インターネット、ポスターや文書等に、研修受講生の氏名や写真を使用される場合があることを了承する。

※学術或いはスポーツなどで業績が認められた場合などを除いては、写真と共に個人名が掲載されることは稀です。

6. 研修受講生は、悪天候、災害、戦争、テロ等、ICC の責任によらない事態の発生により、留学・研修プログラム及びその付帯行事が留学・研修プログラムが始まる1ヶ月以内に中止になった場合、研修受講生が支払った参加費等の一部または全額が返金されない場合があることを了承する。

7. 研修受講生は、留学・研修プログラム及びその付帯行事への応募書類のすべての記載事項が参加する本人の真実かつ正確であることを了承する。

8. ICC (International Communications Council) が研修受講生の個人情報に関係機関に運営管理目的のために提供することに同意する。